

SNS（ソーシャルネットワークサービス）は友達と繋がるためには素晴らしいツールですが、どこまでの個人情報を公開するかなど、オンラインの世界に踏み出す前に基本的な準備や用心を忘れてはなりません。

まず最初のステップは**STOP. THINK. CONNECT.**です。セキュリティを意識して、インターネットの利点を楽しみつつも自身の行動やふるまいがもたらす結果をよく理解することです。端末を常にクリーンに保つことを忘れてはなりません。セキュリティ対策ソフトウェア、ウェブブラウザ、OSを最新に保つことが、ウイルスやマルウェアなどのオンラインの脅威から守る上での最善の策です。

ソーシャルメディアで正しく情報を共有しよう。

● 自身のオンライン・プレゼンス（人格・存在）を守る

└ プライバシー設定やセキュリティ設定は目的があって存在するものです。サイト上に設定が設けられている場合は情報共有を自身が安心できるレベルに設定しましょう。情報を「誰と」、「どうやって」共有するかについては制限することが必要です。

● アップロード＝投稿した本人であっても消すことができない

└ オンライン上の自身の人格・存在を守りましょう。まず、一度アップロードしてしまったものは投稿した本人であっても簡単には消すことができなくなってしまう可能性があることを理解しましょう。読者は友達だけだと思いがちですが、実はオンラインに投稿した内容は世界中の人に読まれる可能性があります。また最近の研究結果で発表されたことですが、就活リクレーターの7割はオンライン上で見つけた採用候補者の情報で採用・不採用を判断しています。親しい友達にしか話せないようなことは、オンライン上に書き込むべきではありません。

(<http://www.microsoft.com/privacy/dpd/research.aspx>)

● 他人について書き込む場合はまず立場を変えて「自分が同じことをされた場合」をよく考えましょう

└ 他人へのメッセージは、あなたが受け取りたいと思う内容にしましょう。これはオンラインの鉄則です。

● 怪しいと思ったら返事をしない

└ メール、ツイート、書き込み内にあるリンクやオンライン広告は、被害者に危険なリンクをクリックさせたり、共有すべきではないリンクを共有させるためにサイバー犯罪者がよく使う手口です。怪しいと思った場合や、せかすような行動を促してきた場合や、あまりにも美味しい話の場合は、情報の発信元をよく知っていたとしても、それをスパムメールとして処理するのが正しい対処です。

● パスワードは長く、ユニークで、破られにくいものを設定しましょう

└ 大文字や小文字を混ぜて、数字や記号も含めたパスワードを使うとより安全です。当たり前ですが、パスワードは機密情報なので例えお友達であれ、教えるべきではありません。

● オンライン上の評判は必ずしも悪くなるわけではなく、良くなることも多い

最新のリサーチで解ったことですが、就活リクレーターは個人の好感の持てるオンライン上の振る舞いについては好意的に受け取る傾向があります。オンライン環境への正しい理解、考慮や知識を見せつけて、良いレピュテーション（評判）を作っていきましょう。

(<http://www.microsoft.com/privacy/dpd/research.aspx>)

● 不安・不快に思う場合は正直に言いましょう

もしあなたの友達があなたを不快にするような不適切な内容を書き込んだ場合は正直に相手へ伝えましょう。逆もまたしかり、友達があなたの書き込んだ内容について正直な気持ちをぶつけてきた場合は誠意をもって受け止めましょう。共有の際は常に気を配ること。世の中に知らせて良いと思う範囲や、公開する情報に対する感じ方というものは人それぞれですから、相手の考えを尊重しましょう。

● 個人情報にはむやみに広めない

SNS上で公開する個人情報については気を配るようにしましょう。より多くの個人情報を公開すればするほど、ハッカーからの攻撃やID盗難の被害にあったり、データを不正アクセスされたり、ストーキングなどの犯罪の標的になりやすくなります。

● 友達をよく知り、関係を正しく管理しましょう

友達とはお互いをよく知り信頼する仲間です。SNSの楽しいところは共通する趣味などからたくさんの友達を作ることです。一般的にはこの友達グループはより小さい方が安全です。ツールをうまく利用するなど、複数のオンラインページを利用して、違うグループに関わっている友達とうまく情報共有をしましょう。公的なパソナを作り、自身のアイデアや写真、その他情報をより広範囲で共有したいと思っている場合はオープンなプロフィール、もしくは誰でも参加が可能で個人情報の掲載を制限させた「ファンページ」を作成することをおすすめします。個人プロフィールは別に管理することで、現実世界の友達とは密に日々の交流や情報交換ができます。

● 自分にとって安全 = みんなにとって安全

オンライン上のご自身の行動によって、ご家族、同僚の方々、世界中の人々を含め、他の方々すべてに影響を及ぼす可能性があります。よいオンライン習慣を実践することは、世界中のデジタル社会に恩恵をもたらすことになるのです。

「ネットいじめ」から守り、支えよう。

● 対処法を熟知しましょう

└ もしも誰かがあなたへ嫌がらせをしていたり、脅しをかけている場合、相手を友達リストから削除する・あるいはブロックして、サイト管理者へ通報しましょう。

● 事を大きくしないように注意する

└ 反抗的な対応をすると、相手からのいじめ対象になってしまう可能性があります。いじめは加害者に反応するとよりエスカレートすることもありますので、状況をよく理解し場合によっては相手を無視や、しばらくの間すべてのオンライン利用をやめさせることも大事です。あなたもしくはお子様がいじめのメール、不要な迷惑メールを受けている場合はメールアドレスの変更もご検討ください。メールアドレスを変更してもまだいじめが続く場合はより強い法的な対処もお考えください。

● ネットいじめを記録する

└ オンライン上のやりとり（メール、Webページ、SNSの書き込みなど）は日付なども含めて記録し、保管しましょう。電子的な方法に加え、印刷した記録も保管しておくことをおすすめします。

● 立ち上がりましょう

└ 友達がいじめの対象になっている場合は、見逃さずに立ち上がりましょう。間違ったメッセージが余計に広がらないよう信頼する大人に報告、または親が味方になって知り得る限りのすべての問題を把握することが重要です。そしてお子さんと一緒に解決の糸口を見出していきましょう。

STOP. 立ち止まる

ボタンやリンクをクリックする前に、安全なものなのか一旦立ち止まって確認しましょう。どのような画面表示にリスクがあるのか知っておきましょう。

THINK. 考える

これから何が起きるのかじっくり考えましょう。警告が出ていないかどうか気を配り、自分の行動によって、ご自分やご家族の安全にどのような影響が出そうなのか考えるようにしましょう。

CONNECT. 楽しむ

自分とコンピューターを守るための適切なステップをとっていることを理解した上で、自信をもってネットを楽しみましょう。